平成 30年　2月　22日

研修報告書

氏名：原田　文

所属：京都大学iPS細胞研究所

研修期間：平成29年4月1日　～　平成29年　2月28日

研修場所：京都大学遺伝子診療部

受講動機：臨床遺伝に興味があり、常に関わりをもっていたい。早いスピードで変化していく遺伝学の分野で自分の知識もupdateしていく必要があると感じているため。

研修内容：

月に2回開かれる合同カンファレンス症例提示・検討会への出席

研修成果：

　多くの幅広い疾患に対する遺伝カウンセリングについての発表をきき、またdiscussionをすることができ、大変満足のできる研修になりました。

 特に印象にのこっているケースは筋強直性ジストロフィーの発症前診断や遺伝性腫瘍の家族歴のある方の遺伝診断症例などがありました。クライアントの意思決定にかかわる経過やそこにたどりつくまでの思いなどについて、発表を聞く形ではありましたが実際に自分が陪席したかのように情報を共有させていただきました。

　遺伝カウンセラーの養成課程の方々が中心のカンファレンスでしたので、クライアントの思いに寄り添う形でのカウンセリングの進め方などを毎回の発表を聞く中で自然と学習した気がします。それぞれのカウンセリングでのポイントになる部分については、カウンセリングを担当された先生方より最後に解説があり、先生方はみなさん非常に豊富な経験と専門知識をもっていらっしゃいますが、それを惜しみなく共有してくださり大変勉強になりました。

その他（感想・要望・反省点、等）：